

令和3年5月20日

市原市長  
小出 譲治 様

市議会公明党

## 新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

政府は、新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、3回目となる緊急事態宣言を発出し、さらに、5月31日までの期間の延長、まん延防止等重点措置の延長・追加などの対策がとられているところである。

こうした取り組みの中で、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充とともに、何よりも、市民への円滑かつ迅速なワクチン接種を進めることが重要と考える。

コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての市民が接種対象であり、万全の準備が必要と考える。

については、市原市におけるワクチン接種の体制整備について、下記とおり緊急要望するものである。

### 記

- (1) 政府は、7月末を念頭に高齢者へのワクチン接種を終えられるよう取り組むとしているが、多くの高齢者が接種を希望していることから、我が市の接種計画を明確にするとともに、県と密接な連携の下、まずは、接種に当たる医療従事者への優先的な接種を早急に行なわれたい。
- (2) 接種希望高齢者全員の接種が7月末日までに終了するために、6月中旬頃までに、接種希望高齢者の予約が終了する体制整備の強化に取り組むこと
  - ①集団接種会場での接種日を増やすこと
  - ②医療機関へ接種体制の強化を強く要請すること
  - ③ワクチン接種に当たる医療関係者の確保に努めること
- (3) アナフラキシー・ショック等の副反応報道がなされている中、ワクチン接種に不安を抱える市民も多い。また、今後ファイザー社のワクチンに加えモデルナ社やアストラゼネカ社のワクチンの薬事承認が期待される中、ワクチンの安全性等について、タイムリーで分かりやすい丁寧な情報発信に取り組まれない。

- (4) 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のため、必要な場合は、訪問診療などを活用し訪問による接種も検討すること。
- (5) 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行われることも想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行い、この期間においては、障がい者の方々等へのきめ細かな配慮を行い、速やかな予約につながるよう特段の取り組みを行われたい。
- (6) 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に講じられたい。
- (7) 車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないように、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど、合理的な配慮を十分に講じられたい。
- (8) 先行予約期間における処遇として、9月に海外に留学する学生・生徒について、ワクチン接種が義務付けられていることから、留学するまでに2回の接種が実施できるよう配慮されたい。
- (9) 集団接種会場における経過観察時間を活用して、接種済者が注意すべき事項、例えば接種後すぐに体内の免疫が形成されるわけではなく引き続き十分な感染予防が必要であること、翌日に発熱などの副反応が顕著であることなどについて分かりやすく周知を図る映像などを上映されたい。
- (10) 国による大規模接種センターが利用できることとなったが、市民に制度の概要を十分周知するとともに、接種会場までの移動について適切なサービスを検討し、実施されたい。
- (11) 他の自治体で接種予約にキャンセルが生じ、ワクチンが廃棄されていた事例が報道されている。貴重なワクチンを無駄にしないためにも、廃棄が生じないように、取り組みの工夫と配慮を徹底されたい。
- (12) 勤労者の接種推進について、会社(事業所)での接種実施の仕組みを促すと共に産業医を活用されるよう取組んで頂きたい。

以上